

放課後等デイサービス 【クローバーの支援方針】

健康・生活、運動・感覚、認知・行動、言葉・コミュニケーション、人間関係・社会性

《本人支援の5領域》に沿った様々な楽しいプログラムの中で、

『あそび』を通じて、ルールやマナーなど社会スキルの向上を目指していきます。

また、個別支援により、子どもたちが将来、社会生活を円滑に営むために必要な支援を行います。

人と人が関わるどんな瞬間にも学びの機会があると考え、

私たちは一人ひとりのこどもたちの個性に寄り添い支援する事を心がけています。

～プログラム一例（公園活動）～

①運動・感覚

全身を大きく動かし思い切り走る体験から、足腰の筋力を鍛え、手を振り姿勢を意識することで、身体を中心を保つためのバランス感覚を養っていく。



「あそび」を通じて、 自分らしく成長♪

②人間関係・社会性

だれが鬼になるかな？
わたしは逃げる人になりたいな。。
相談を重ねて、集団の中で自分の気持ち、相手の気持ちを考える重要性に気づく。



⑤認知・行動

どんな服装で遊ぼうか。汗をかいたらタオルでぬぐい、時には着替えよう。
気温や自身の体温の変化を感じ、状況に合わせて快適に遊ぶ方法を思考錯誤することで、一人一人の考える力を伸ばします。

③健康・生活

時間を決めて椅子に座って、お友達と一緒にこまめに水分補給。
自分の体力はどれくらいあるだろう。
身体を動かして楽しく遊ぶために必要な休息を体感しながら学んでいく。

～公園活動のプログラム～

公園で鬼ごっこ。

みんなでおやくそくを考えて、ルールを確認してから鬼と逃げる人に分かります。

子供もスタッフも全力で走ります♪

水分補給も忘れずに。。

④言葉・コミュニケーション

背の高い遊具の上で走ったら、、
小さな子が近くで遊んでいたら、、
「遊具はなしにしよう？」
「小さな子の近くは歩こうよ！」

安全に遊ぶためのお約束をお友達同士で声を掛け合い言葉を交わす機会を作っていく。